

学校の概要



(1) 私たちの扶桑町

扶桑町は、愛知県の北西部に位置し、総面積は、11.18K m²、人口約 33,000 人の地域です。東は犬山市、西は江南市、南は大口町、そして、北は木曾川をへだてて、岐阜県各務原市に接しており、土地はおおむね平坦で北に高く、南にやや低く、濃尾平野の田園地帯の一角にあります。

町内には古墳があり、古くから人が住んでいたようです。約 400 年程前、木曾川堤防ができる前は、木曾川がたびたび氾濫をおこし、祖先たちは水の災害と戦いながら、必死に生きぬいていたのだらうと想像できます。

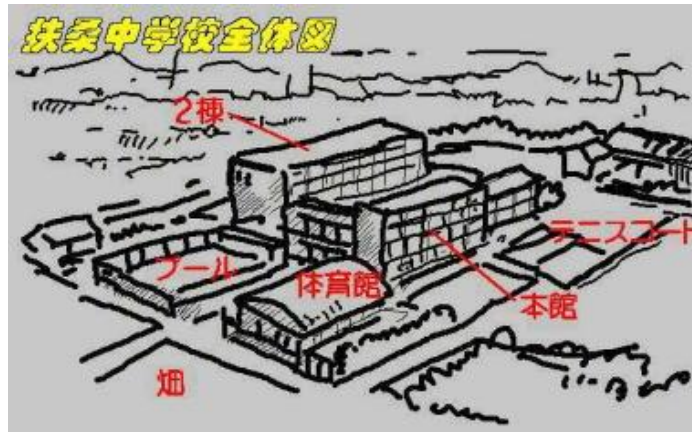
木曾川堤防の完成後は、時折水害にあいながらも繁栄し、江戸時代には尾張藩に属していました。明治 39 年高雄村、山名村、豊国村、柏森村が合併して扶桑村となり、養蚕、生糸の集散地として発展し、昭和 27 年 8 月に町制を施行し扶桑町となりました。



(2) 扶桑中学校の状況

本校区は、扶桑町の南部を中心に 2 小学校区からなります。本校の周りは、ほとんどが住宅地であり、幹線道路沿いには各種の店舗が多く、近年急速に発展してきている地域です。地域は学校教育に対して関心が高く、協力的な家庭が多いです。平成 19 年度には、開校 60 周年を迎え、地域の方々や同窓生から多くの祝福をいただきました。

本校は、16 学級で生徒数約 500 名の中規模校であり、30 名余の教職員数で学校生活を送っています。生徒の様子は、素直な性格の生徒が多く、毎日の学校生活にまじめに取り組んでいます。



(3)現職教育

現代の子どもたちは、運動に興味を持ち活発に運動をする子とそうでない子に二極化していたり、生活習慣の乱れやストレス及び不安感が高まっている傾向があると指摘されています。それゆえに、心と体により一体としてとらえて健全な成長を促すことをねらった実践が、一層大切になってくると考えられます。

本校では、研究主題を「共に学び、考え、高め合う生徒の育成」と設定し、学級活動の充実、地域社会とのふれあいを深めるなかで豊かな心を育み、自ら考え、行動できる生徒を育成しようと考え、実践を積み重ねてきました。そして、それらの実践を通して子どもたちに、21世紀を主体的にかつ心豊かに生き抜いていこうとする意欲を持つことの意義と、生涯を通して健康で安全な生活を送るための基礎を築くことの大切さを理解してほしいと願ってきました。

生涯学習が叫ばれている昨今、本校での健康教育の様々な取り組みで培ったことが、子どもたち自らの健康生活を維持していくための確かな窓口となってくれることを期待しています。

(4)表彰

- 平成 11 年度愛知県健康推進学校「特別優秀賞」
平成 11 年 11 月 12 日 愛知県学校保健研究大会(於愛知連歯科医師会館)にて受賞
- 第 13 回毎日カップ中学校体力づくりコンテスト「特別賞」
平成 11 年 12 月 11 日 毎日新聞東京本社毎日ホールにて受賞
- 平成 13 年度愛知県学校体育優良校
平成 13 年 12 月 11 日 愛知県学校体育研究連合会より受賞
- 平成 15 年度愛知県教育委員会・丹葉地方教育事務協議会委嘱研究発表会
研究主題「自ら学び、考え、追究し続ける生徒の育成」
- 平成 19 年度 研究題目「自ら学び 考え 追究し続ける生徒の育成」
愛知県教育弘済会より受賞